

カンニングする人

堂本学

内容

カンニングする人	1
小学生の勉強で答えを見るのは悪いことじゃない!? 勉強の意味	4
小学生の学習を効率化させる7つの方法! 効率が悪い勉強方法とは? 勉強の意味	5
まとめ	8
著者: 堂本学	9

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

小学生の勉強で答えを見るのは悪いことじゃない！？勉強の意味

小学生のころから「真似ることは悪いこと」と、あなたは子供に教えていませんか？

しかし、答えを書き写すという過程には、色々考えられます。真似ることは本当に悪いことなのかについて、本記事ではお伝えしていきます。

小学生の勉強で答えを写す原因とは？回答欄が埋まっていることに評価している子供にどうやって解いたのか聞かない子供の工夫を認めていない問題を解く速さだけを評価するのはダメ！

小学生の勉強で答えを写す原因とは？

問題文をしっかりと読んで考えたうえで、答えを見て書き写しているなら仕方ないかもしれませんが。しかし、ここで問題なのは「問題文を読まないで、答えを書き写す」という行為です。

これは、問題の難易度に関係ありませんし、勉強の指導云々でもでもないと言えます。問題文も読まないで答えを先に書き写してしまい、自分で答えを書いていったかのようなふるまいをするというのは、人としてどうなのか？っていうことですね。

とはいえ、こうした問題文も読まないで超えたを書き写す行為は、先生や親などの言動が関係していることが多いです。どういう言動が関係しているのか、一つ一つお伝えしていきましょう。

回答欄が埋まっていることに評価している親が子供の勉強を見たときに、単に答えが埋まっていることについて褒める。忙しい家庭の場合は、子供を常に観察し続けるのは非常に難しいでしょう。親が子供の勉強を見続けることは、不可能に近いです。

ただ、子供が勉強をしているかどうかの判断基準は、答えが書いているかどうかだけでしょう。答えが書いている場合は、「勉強頑張ったね」と、評価すると自然と子供は「答えだけを描けば良い」と思うようになります。

答えさえ書けば良いという感覚は、大人が良かれと思って褒めることが原因になっている場合があるのです。答えを書いたことだけを評価すると、思考過程を書かなくなり深く考えない人間になっていきます。また、難しいことを紙に書いて考えたり、工夫をしなくなる可能性もあるのです。

子供にどうやって解いたのか聞かない答えを書いただけを評価しないためには、子供にどうやって問題を解いたのかを聞いたほうが良いでしょう。

子供が勉強で問題を解いたら、親はどうやって問題を解いたのかを、しっかりと聞かないと子供の考えたことが分からないのです。子供が考えたことを評価するには、コミュニケーションが必須です。

文字には表せなかった考えを聞いて、評価してあげることによって、自分で考える子供に成長していきます。子供の工夫を認めていない子供が問題を解いた経路は、認めないといけません。筆者は学生のころに、算数の問題で通常の解き方とは違う式で、正確な答えを導き出

したことがあります。親はもちろんですが、先生もをれを認めませんでした。

確かに、教科書通りの式で、正解に導くことは大切でしょう。今にして思えば、子供の工夫を認めないで否定するばかりが、教育ではないということ。せつかく工夫をして考えたことを、否定してしまうと今後は自分で考えることに躊躇するかもしれません。

筆者も、自分の考えを親や先生から否定され、自分で考えることや自分の意見を言うことに、躊躇するようになってしまいました。子供の考えを否定すると、自分の考えを書くのをためらい、すぐに正しい答えを見たがるようになる人間になります。

つまり、子供の柔軟な考えも受け入れる配慮と技量が、大人にも求められるということです。子供の発想は、ときに先生でも「え？」と驚くようなことを、やってのけることもあります。なので、子供の工夫を認めるというのも、子供を大きく成長させる一つの方法だと言えるでしょう。問題を解く速さだけを評価するのはダメ！たまたま、問題を解く速さだけを、評価する親御さんもいらっしゃいます。

しかし、そんな評価の方法では、答えを写す原因になります。子供は自分の行動に対して、大人の反応をよく観察をしているのです。早く解くという行為に直結するのは、答えを書き写すという行為こそ最速の手段だと言えます。子供は、大人の期待に応えるために、最速の手段である「答え写し」をします。

問題を早く解いた場合は、その問題をどうやって解いたのかについても、考えを聞くべきだと言えるでしょう。勉強とは、自分で考えることをで子供の成長を促す行為だと、筆者は考えています。別に、勉強ができなくても正直に問題を解いて、自分の考えで問題を解く力を身につけるほうが、将来的に役立つと言えるのではないのでしょうか。

まとめ

小学生の勉強で答えを見るのは悪いことなのかといえば、別に悪いことではないと筆者は考えています。なぜなら、答えを見ながらでも、自分で考えるための参考にするなら、別に最初は答えを見ても良いと言えるから。

しかし、徐々に答えを見ないで問題を自分で回答していき、自分で考えるようにしないとダメです。問題文を読まないで答えを書き写している行為を発見したら、怒るのではなく、どうやって解いたのかを聞いたほうが良いでしょう。

基本的に、勉強とは「自分で考える」ということが大切なので、どんな形でも自分で考えさせることが重要なのです。

小学生の学習を効率化させる7つの方法！効率が悪い勉強方法とは？勉強の意味

小学生の学習を効率化させるには色々な工夫が必要です。

確かに、勉強の好き嫌いについては元々の性格によるのですが、家での過ごし方によっても変わるものなのです。学校で学習をするのも大切なことですが、最も大切なのは家庭学習です。どのようなやり方が良いのか分からない方も、いらっしゃるのではないのでしょうか。

本記事では、学習を効率化させるための、7つの方法についてお伝えをしていきます。

小学生の学習を効率化させる 7つの方法 目標時間を決める隙間時間を効率よく使う学習内容を時間別で使い分ける分散学習をする「覚える」ではなく「思い出す」学習法 音読をする自分に合った学習方法を行う 効率の悪い学習方法とは？

作業だけで学習をした気になる問題を解きっぱなしにする暗記を避ける

一気にすべてを覚えようとするまとめ小学生の学習を効率化させる7つの方法

文部科学省が公表している「全国学力・学習状況調査」では、学力向上に必要なのは家庭学習の習慣化です。

家で過ごす時間次第で、勉強が得意になったり不得意になったりします。色々な工夫をして学習環境を整え、自ら学び考える大人に育てるためにも、家庭学習の見直しをしてみましょう。それでは、小学生の学習を効率化する、7つの方法についてお伝えをしていきましょう。

目標時間を決める勉強を始める前にまず目標時間を決めましょう。

一日にどれくらいの勉強をするのかを予め決めておくことで、勉強のモチベーションに繋がります。

私が小学生の頃は、一日平均 2.3 時間は勉強に使っていました。また勉強の合間に必ず数分でいいので、休憩時間を設けてください。5~10分休むことで脳をリフレッシュすることができ、その後の勉強がはかどります。この時間は自分の好きなことをしてもらって、構いません。ただし、あまり長い時間休憩してしまうと、勉強を再開しづらくなるので、5~10分程にしておきましょう。

隙間時間を効率よく使う一日の中で生まれるわずかな時間も、勉強に使いましょう。例えば、学校から帰ってきて夜ご飯を食べるまでの時間や、夜寝る前のわずかな時間も、その日学んだことの復習や次の日の予習をしましょう。

実際私も小学生の頃は、隙間時間を予習復習に当てていたため、宿題の提出忘れやテストでの赤点が無くなりました。学習内容を時間別で使い分ける同じ科目を何時間もかけて、勉強をするのはやめましょう。

一日に勉強できる時間は限られているので、一時間ごとに勉強する科目を分けることで、効率よく勉強することが出来ます。一日にわずかな時間でも様々な科目を勉強することで、勉強に飽きずに効率よく勉強することが出来ます。

また、覚えることが多い科目は、なるべく寝る前に勉強しましょう。寝る前に勉強して、翌朝復習することで、頭にインプットされやすくなります。分散学習をする一度覚えたことを時間が経ってから、もう一度学習する「分散学習」を知っているでしょうか。

例えば算数の九九を覚えるときに、一気に 1 から 9 の段まで覚えるのは効率が悪いです。なぜなら人間は学んだことを、およそ 24 時間で忘れてしまうからです。

なので、一日に大量のことを学ぶのではなく、コツコツ勉強することが大切なのです。「覚える」ではなく「思い出す」学習法 私は小学生の頃、様々なことを覚えようと必死でした。そのせいで最初に覚えた内容が、思い出せなくなることが多々ありました。つまりインプッ

トはできていても、アウトプットが出来ていなかったのです。

どれだけ必死に覚えても、内容を思い出せなければ覚えた意味がないため、私は夜勉強したことを翌日の夜に思い出すことで、効率よく学習していました。音読をするこの方法は私が行っていた勉強法の中で、最も大事にしていたことです。

ひたすら文字を眺めているだけでは、内容は全く頭に入ってきません。そんなときは、声に出してみましょう。この方法は特に、社会を勉強するときに役立ちます。偉人の名前や歴史上の戦いを年号とともに声に出して読むことで、文字を眺めているときよりも覚えやすくなります。

自分に合った学習方法を行う最終的には、自分に合った学習方法を試すのがベストです。ここで紹介した学習法はあくまでも、私が実際に行ってきた方法なので、必ずしもすべての人の役に立つとは限りません。なので、少しでも参考になることが出来たら幸いです。

ですが、まずは上記の勉強法を試してみて、自分に合っているなど感じた場合はそのまま実践し、合わないなど感じた場合は他の方法を試してみてください。効率の悪い学習方法とは？子供の家庭学習のやり方については、「無理をさせない」ということです。

さらに、子供が自ら勉強をしてもらうためには、興味や関心を引き出すことが大切だといえます。効率の悪い学習方法は、無理やり子供に学習をさせるというやり方だといえます。次は、効率の悪い学習方法について、お伝えをしていきましょう。作業だけで学習をした気になる私が小学生の頃は、宿題を終わらせたから、今日の勉強は終わりだと決めつけていました。

しかし、これは勉強ではなくただの作業なのです。宿題は、先生から課されたものをこなすだけであり、自己的に行っているわけではありません。勉強は自分から学びに行く気持ちがないと何の意味もないため、宿題以外に自分で学びたいことを選択し、自己的に勉強しましょう。問題を解きっぱなしにするよくテストを解き終わって、そのままにしておく人がいますよね。これでは何の成果もありません。テストや問題を解いていちばん大切なのは、見直しをすることなのです。見直しをすることで、ケアレスミスや誤字などにも気づくことが出来ます。また答え合わせをした後にもう一度解くことで、類似問題の対策にもなります。暗記を避けるとにかく覚えようとしてひたすら暗記しがちですが、暗記はあまり良い行為だとは言えません。

先程も述べたとおり、人間は記憶したものをずっと覚えておくことは、ほぼ不可能です。ただ、暗記するよりもしっかり工程を理解した上で、覚えたほうが脳に記憶されやすく、暗記するよりも長く頭に残ります。

一気にすべてを覚えようとする私はテスト前日に焦って、内容を一気に覚えようとしていたことがあります。しかしこれには何の意味もありません。そんな状態でテストを迎えても、浅い記憶では思い出すことが出来ず、結局時間の無駄になってしまいます。

実際私も痛い目を見ました。毎日コツコツ覚えていたらこんなことにはならないため、一気に覚えようとするのではなく、少しずつ覚えていきましょう。

まとめ

私の経験から、効率が良い勉強法と、効率が悪い勉強法を紹介致しました。効率の良い勉強法の最後で、ご紹介したとおりです。最終的には自分に合った勉強法を見つけるのが一番良いので、今回書かせていただいた内容を参考にしていただけたら幸いです。またその際に、今回紹介させていただいた効率の悪い勉強法にならないようにしていただけたら、完璧な勉強法にたどり着くことができると思います。理想の勉強法を見つけ、良い成果がでるように応援しております。

著者：堂本学

好き嫌いの激しい性格ですが、実は温厚。仕事柄いろんな人と関わることがあるので人間観察が一番の趣味。将来の夢は田舎でスローライフを送ること！！